

## 1. 布佐排水区の整備事業（令和3年6月現在）

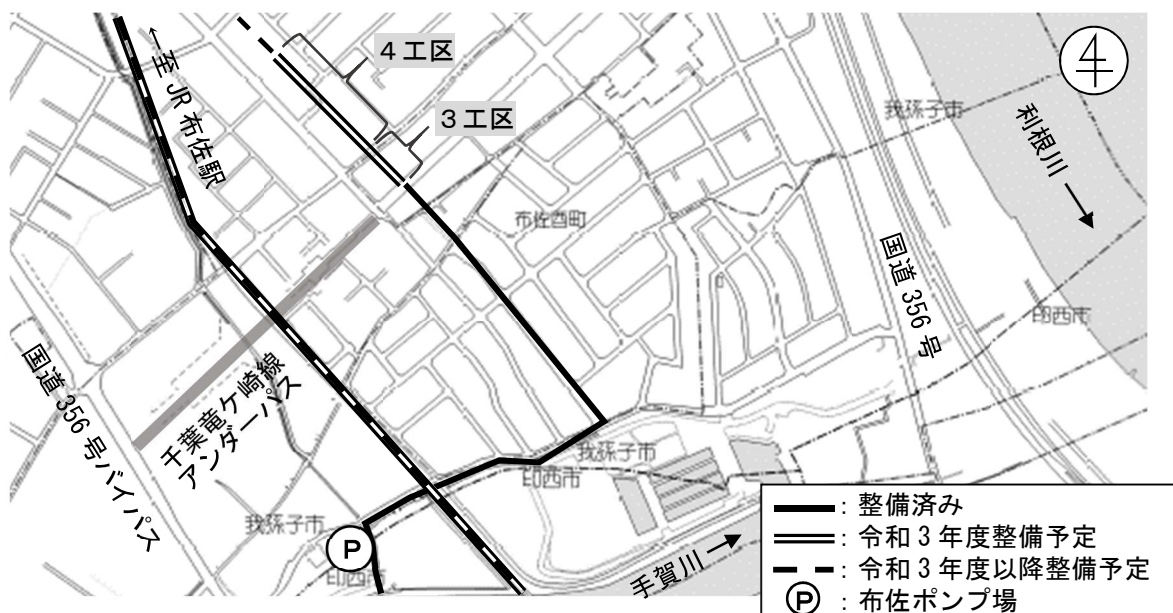
### ◆ 事業概要

布佐駅東側地区では、放流先である手賀川水位に影響し、一部の地盤低地部において、長年に渡り常襲的な浸水被害が発生しています。このことから、5年確率降雨に対応する雨水排水施設（ポンプ場・雨水幹線）を整備し、浸水被害の軽減を目指しています。

平成26年度に布佐ポンプ場が完成し、それまでの暫定ポンプ場の能力と比較して約10倍の能力になりました。今後は雨水幹線と主要な枝線の整備を進めていきます。（H29から着手）。

排水区面積：204.32ha	事業期間：平成13年度～令和11年度
ポンプ排水能力：8.4m <sup>3</sup> /秒※	総事業費：約45億円

※現時点での排水能力。最終計画は11.850m<sup>3</sup>/秒。



### ◆ 令和3年度の実施内容

- 雨水幹線整備工事（3工区） 延長約46m(令和2～3年度継続事業)
- 雨水幹線整備工事（4工区） 延長約131m(令和3～4年度継続事業)